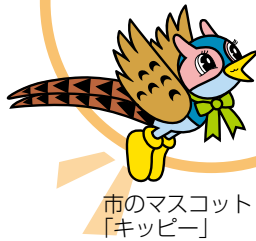


# さんだ 議会だより



平成20年8月1日 第94号  
(2008年)  
発行 三田市議会  
編集 議会報編集委員会  
三田市三輪2丁目1番1号  
TEL 079-559-5162  
FAX 079-564-2992  
ホームページアドレス  
http://www.city.sanda.lg.jp/  
Eメール  
gikai\_u@city.sanda.lg.jp

**1950年代**  
昭和33年三田市誕生～統合への苦悩  
市役所の位置をめぐって旧町間のかけひきの中、現在地に可決

**1960年代**  
大規模開発の始動  
遅れる社会資本整備の解決に向け「神戸市への合併請願」を可決、その後白紙に北摂ニュータウンと青野ダム建設の発表、特別委員会を設け市民の立場で取り組む

**1970年代**  
ニュータウン計画と悪化する市財政  
赤字再建団体手前の事態に議会は紛糾、昭和51年度予算を2度否決、国鉄三田駅は、現位置かニュータウン内か、駅位置で揺れる議会

**1980年代**  
ニュータウン入居開始、躍進へ  
住宅都市にふさわしくないとしてミサイル基地市内建設反対決議を可決、防衛庁、撤回へ

三田駅旧駅舎

第一回議会の会議録

## 三田市議会50周年

市議会からみた50年

**1990年代**  
人口急増都市～三田  
差別のないまちづくりへ決意、部落差別撤廃決議を可決

議場のようす (昭和61年)

造成中の武庫が丘 (昭和58年)

**～2008年**  
成熟都市への模索  
三田駅前商業ビルに関して議会在追求、三田まちづくり憲章を可決

### ごみ有料化は先送りに 議員定数減は否決

**議員定数減を提案・否決**

議員定数に関しては、昨年12月に約5,000人の市民の方から議員定数の削減を要望する陳情がありました。議会内でも定数を含む改革について検討してきましたが、一致した結論は得られませんでした。

しかし、最近の市財政の悪化による行財政改革の中で、市民や職員がその影響を受けていることに対し、議員自らも同様の痛みを分かち合うべきだと、現在の議員定数24人を2人減らし、22人とする条例案が議員から提案されました。

これに対し、反対の立場の議員から、「提案が唐突である、行革であればまず議員報酬の削減を行うべき」と

**ごみ有料化の議論**

市当局は、家庭などから排出されるごみを減量する目的で、可燃ごみ用ごみ袋の価格を現在の製造コストのみの1枚15円に、ごみ処理経費を上乗せ(ごみ処理有料化)する計画を検討してきました。これに対して、多くの議員から効果を疑問視する意見や、まずは市民に対してごみ処理の現状や減量の意義を知ってもらうことが先決で、有料化は減量化の最終手段であるなどの質問が市当局に投げかけられてきました。

6月定例会でも同様の質問が複数の議員からありました。竹内市長はその答弁で、「物価高騰のおり、ごみ有料化の議論に先立ち、ごみ減量化施策について力を入れてやっていく。有料化は、減量化・資源化の実施状況をみて議論する」と述べ、ごみ有料化の先送りを表明しました。(2面参照)

**市長からは「まちづくり憲章」ほか22議案**

先に制定されている市職員倫理条例とあわせ、さらに公正で透明性のある市政を目指します。

市制50周年の節目に、市民の規範であり、三田市のまちづくりの指針である「まちづくり憲章」が市長から提案されました。この憲章は、市民との協働のまちづくりを進めるため、市民会議の提言や意見募集から生まれたものです。

**市職員不祥事を防止**

公益目的通報条例改正

職員の不正行為を内部通報(公益目的通報)しようとする職員は、これまで原則実名で通報しなければなりませんでしたが、しかし、相次ぐ市職員不祥事を受けて、より通報しやすくする目的で匿名通報も可能にする「公益目的通報者保護条例の改正条例」が提案されました。

市長提案の22議案は、すべて、可決しました。

### 6月定例会のあらまし

などの意見が出されました。賛成の立場からは、「議員定数は社会情勢にあわせ柔軟に変化させるべき」との意見があり、表決の結果、賛成少数で否決となりました。

**より信頼される議会へ**

昨年3月から議会内で検討してきた「議員政治倫理条例」を全会一致で可決しました。

この条例は、市民に信頼される公正で民主的な三田市の発展に寄与する目的で、議員にふさわしい人格と倫理を堅持するために定めたものです。